

**第3回 県立都市公園のあり方検討会 赤穂海浜公園部会  
議事要旨**

1 日時 令和5年1月19日（木）11:50～12:20

2 場所 赤穂文化館赤穂化成ハーモニーホール 2階学習室

3 出席者

赤澤部会長、澤田副部会長、山本委員、岩崎委員、梅本委員、浜野委員、明石委員、齊藤委員

4 議題

- (1) 赤穂海浜公園における資源等の確認について
- (2) 駐車場平日無料化にかかる結果について

5 議事要旨

(1) 赤穂海浜公園における資源等の確認について

冒頭、赤澤部会長より現地見学会で作成した付箋を貼る旨が伝えられ、現地見学の振返りが述べられた。主な意見は以下の通り。

- 寒い中での現地見学会であったが、歩いていると体が温まり、気持ち良かった。冬季期間でも赤穂海浜公園を歩いて巡る様なイベントを開催することができるのではないかと感じた。(浜野委員)
- 四季毎の公園の利用方法を記載した図を整理することも良いかもしれない。(赤澤部会長)
- 自由広場は非常に広いので、少子高齢化の時勢を考慮し、西日本最大級のサービス付きの高齢者住宅を整備することもアイデアとして提案する。(梅本委員)
- 特定公園施設として、高齢者向けサービスを民間事業者に提供してもらい、利益の一部を園内整備に還元することも考えられる。(赤澤部会長)
- 入居された方の家族や、職員の方のための寮も併せて整備すれば、赤穂市の人口を増やすことができると考える。(梅本委員)
- 赤穂市民がゆっくり過ごせる場、観光・まちづくりの拠点、新たな過ごし方等大きなポリシーに関しても話し合いができれば良い(赤澤部会長)
- 潮の干満の影響を受ける水場を活かすことが当公園の独自性に繋がる。(澤田副部会長)

## (2) 駐車場平日無料化にかかる結果について

事務局より資料2に基づき説明。主な意見は以下の通り。

- 約60万円の減収とは、どのような計算をして出てきたのか。(澤田副部長)
- これまでの利用実績より、平日の収益が約60万円であった。(事務局)
- 平日無料化によって、駐車場の維持管理費を減少させることはできないのか。(赤澤部長)
- 駐車場は機械式であり、休日は今まで通り機械を稼働させることから、平日を無料化にするからといって維持管理費はほとんど変わらない。(事務局)
- 赤穂海浜公園の全般の財務状況を知らないのので、720万円という数字が全体のどれくらいを占めるのかを教えてください。また、他の部分でコストを削減することはできないのか。(梅本委員)
- 720万円は指定管理料の5～10%に該当する。兵庫県の財政が厳しくなった時代に、指定管理料を減少させたので、これ以上削減することは難しい。(事務局)
- テニスコートのクラブハウスにあるのは自動販売機だけか。(浜野委員)
- その通りである。喫茶パルコも休日のみの営業である。(事務局)
- 駐車場無料化と合わせて、くつろげる場所があればより効果的に利用者を増やし、収益を取れる部分にもなるのではないかと考える。(浜野委員)
- 伐採や芝生の管理に維持費がどれくらいかかっているのか。樹木伐採すれば日常の維持管理費を抑えることが出来るのではないかと考える。明石公園では、伐採によって維持管理費を減少したのではないかと。またいらぬところを伐採してしまえば維持管理するところが減って出費が減るのではないかと。(岩崎委員)
- 維持管理費を削減するために樹木を伐採することはない。明石公園で維持管理のために伐採したという認識は、誤解である。機械もの関係の施設を更新しないことで電気代や維持管理費を削減したり、利用パターンが変わったことで陳腐化したものを撤去することで、維持管理費を減らすことは可能かもしれないがやり過ぎると何のための公園かという議論になる。見直しが行える部分については見えにくいところではあるが進めていっている。(事務局)
- 樹木の伐採には費用がかかるが、芝生の管理にも非常にお金がかかる。プレーパークのための管理や、利用する方に整備を担ってもらおう等の、利用と管理を結びつけた方法も必要かもしれない。(赤澤部長)

以上